

## 資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト 『FRY to FLY Project』への参画が決定

株式会社松屋フーズ（本社：東京都武蔵野市、代表取締役社長：瓦葺一利）は、資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に参画したことをお知らせいたします。

### ■『FRY to FLY Project』とは

現在、廃食用油の多くは廃棄されており、回収された廃食用油についても年間10万トン以上が国外に輸出されているといわれています。日揮ホールディングス(株)が主管する『Fry to Fly Project』は、店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とするSAF\*で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。

※SAF：廃食用油より作られた航空燃料はSAFと呼ばれ、従来の航空燃料に比べてCO<sub>2</sub>の排出量をおよそ80%削減することができます。

### ■参画目的

有価での産廃処理となっていた一部地域における廃食用油をSAF製造の原料として供給することで、食品リサイクル率の向上及び有価での廃油売却を実現し、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

松屋フーズは、『FRY to FLY Project』への参画を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた一翼を担うことを目指します。